

# 避難行動判定フロー

○避難所に避難することだけが避難ではありません

「避難」とは、「難」を「避」けることであり、**自宅での安全確保が可能な人は、避難所に行く必要はありません**。自宅での安全確保が可能な場合には、自宅での避難の検討や、自宅が危険と考えられる場合でも、近くの安全な親戚や知人宅などに避難することも避難方法のひとつです。



**「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。**

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取組みましょう**

ハザードマップ\*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは土砂災害や浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて崖のそばや低い土地などにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

- 土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。
- 浸水の危険があっても、
  - ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
  - ②浸水する深さよりも高いところにいる。
  - ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル**3**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル**3**が出たら、市が指定している**指定避難所に避難**しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル**4**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル**4**が出たら、市が指定している**指定避難所に避難**しましょう。